

# 「小諸から世界へ」 KOMORO WINE 50th ANNIVERSARY

これまでの大切な50年 そして 次の50年に向けて

## 「マンズワイン小諸ワイナリーと始まった ワインづくりの歴史」

今からさかのぼること1971年（昭和46年）、小諸の地でマンズワイン株式会社が初めてワインの原料ぶどうの契約栽培を始めました。その中心地にマンズワイン小諸ワイナリーが開設されたのは、1973年（昭和48年）のことです。小諸の地でワイナリーが開設されてから、今年で50周年を迎えます。「日本のぶどうで高品質なワインをつくる」という信念のもと、ぶどう栽培に関わる方々がこれまでに積み上げてきた技術や知識、そして小諸の地とともに歩みを進めてきた大切な50年の歴史があります。

当初は、長野県の在来品種である龍眼（善光寺ぶどう）を中心に栽培。このぶどうから繊細で上質な白ワインをつくることに成功。1981年に欧州系ぶどうのシャルドネの植付を開始しました。1988年10月、大里地区を季節外れの大雪が襲い、龍眼の棚の多くが倒壊しました。この過酷な自然災害からの再建は、その中でも被害の無かった「マンズ・レインカット栽培法」を用いた「欧州系品種」の栽培を始める転機となり、後の「ソラリス」シリーズが誕生する大きな足掛かりとなりました。

「駆け抜けてきたこれまでの50年、「高品質なワインをつくる」信念は現在も小諸の地でワインに携わるつくり手に受け継がれています。」

農林課 農業ブランド振興係

「日本の風土で、世界の銘醸ワインと肩を並べるプレミアムワインをつくる」

SOLARIS

日本ワインコンクール2022  
金賞受賞

2001年に誕生し、数々の国賓のおもてなしに選ばれる等、日本を代表するプレミアムワインのマンズワイン「SOLARIS」。その最高品質のワインをつくるため、弛まぬ努力と研鑽を積み重ね、数多くのワインコンクールで受賞を重ねる等、国内外で高く評価されています。日本を代表するコンクール「日本ワインコンクール2022」では、6品金賞を受賞、うち2品は部門最高賞も受賞しました。



↑マンズ・レインカット栽培法  
小諸ワイナリー  
開業時のロゴ→



## 注目される小諸ワイン

小諸の風土で高品質なワインをつくること、それはワインによる豊かな暮らしの文化を育み、ワイン産業の発展は観光や飲食をはじめとする多方面の分野で地域経済を活性化します。その機運の高まりから、個人経営等の小規模ワイナリーが急増し、人気の欧州系品種が栽培され、今では多種多様な小諸ワインが誕生しています。小諸の土壌からつくられるワインは、その品質評価が高まりつつあり、近年はワイン関連イベントへの参加や観光先として訪れるなど、ワインとふれあう機会が増え、地域内消費を促進し、ワイン産業を通じた持続可能な地域社会づくりを担っています。また、小諸ワインをプロモーションする「KOMORO WINE DAYS」では県外からの参加者も多く、新たな観光資源として、注目を集めています。



# KOMORO WINE 50<sup>th</sup> Anniv.

ワインと農に魅せられ、自然に囲まれた小諸の地で、ブドウづくりワインづくりへ情熱を注ぐ生産者たちがいます。その想いを、自身もワインづくりに取り組む小諸市農ライフアンパサダーの武藤千春が、お届けします。

#01

2015年に設立し、20年にはワイナリーをオープンしたテール・ド・シエル。代表を務める池田岳雄さんは、もともと小諸の市街地出身。畑を探していたときにはじめて訪れた糠地の景色に感動し、この地でワイン用ブドウの栽培を始めました。「雲海がとてもきれいで、ワイナリーとブドウ畑があるこの大地だけが浮かび上がっていたんです。その雲海の上は、全部うちの畑にしようと思いました。」と池田さん。糠地の畑は、冷涼な気候ではあるものの、日射量が多く生育期間が長くなるため果実味のあるワインができるそう。栽培醸造責任者の栗原さん曰く「いいワインを作るためには、いいブドウを作るのが大切。栽培95%、醸造5%の気持ちで、醸造はブドウがなりたいワインになるまでお手伝いする感覚。」ワイ

ナリーがオープンしてからは委託醸造も行っていますが、醸造方法で味が変わってしまうのが嫌なので、すべて同じ方法で醸造。「生産者の顔がひとりひとり違うように、品種、栽培方法、土壌、収穫時期、さらには愛情の種類も違う。その違いがちゃんと表現できているのが面白い」。それぞれ個々の特徴が出て、生産者の味、小諸の味が生まれています。「いろいろな品種を醸造できて、自分も勉強になっていきます。」と笑顔で語る栗原さん。地域の人とひとを結びつけ、次世代にバトンをつなぐ。「天空の大地」糠地で、池田さんの夢は続きます。

はら  
きち  
続こ



Terre de ciel

社長 池田岳雄さん

栽培醸造責任者 栗原一斗さん

〒384-0809 滋野甲 4063-10  
Tel & FAX 0267-41-6671  
【NUKAJI WINE HOUSE】  
Tel & FAX 0267-25-0005

